

### 県立向陽高等学校

キーワード(「3軸・6視点」等)

- ・個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保
- ・長時間勤務の改善

「私たちのピース・リスト2023」との関連

- No.23 学校徴収金の内容や業務等の見直し**  
・学校徴収金を徴収する教職員の負担軽減を図る必要がある。

## スマホ決済サービスを利用した講座受講料の支払い

### 【取組の趣旨】

- (1) 講座受講料を徴収する職員の負担軽減を図る
- (2) 講座受講料を現金で徴収する状況を改善する

### 【導入の経緯】

- ① これまでは進路事務が講座受講料を年2回徴収していたが、集計業務で一か月かかることもあった
- ② そこで、今年度よりスマホ決済サービスを開始した
- ③ 同サービスを開始するにあたっては、案内文書にて保護者や生徒に周知(スマホを持っていない生徒は現金払い)



### 【メリット】

- ① 現金徴収不要のため、領収後の確認の負担が大幅に減る
- ② 同サービス利用に係る初期費用・月額費用は0円
- ③ 手数料は講座受講料に含む
- ④ 明細が残るため領収書の発行不要



### 【デメリット】

- ① 受講希望者が決済サービスのアプリを端末にダウンロードする必要がある
- ② 支払い明細に氏名入力ができない
- ③ 進路職員の目前で講座受講料を支払い、端末の支払い確認画面を確認する必要がある

約900件の講座申込はありましたが、トラブルは特にありませんでした。



## 【講座受講料支払いの手順】

- ① 生徒各自の端末にスマホ決済サービスのアプリをダウンロードする
- ② 各自の講座受講料をコンビニでチャージしておく
- ③ 講座受講料を支払う
  - ア. 進路窓口にて組・番号・氏名を伝える(名簿への記入)
  - イ. 講座受講数分のQRコードを読み取る
  - ウ. 端末にて支払いを選択する
  - エ. 支払い完了画面を進路職員に提示し、名簿にチェックを入れる
  - オ. 伝票番号(18ケタ)を講座受講料支払い票に記入・提出し、手続き完了!

### ※イメージ



### 【職員の感想】

- ・現金徴収後の負担がなくなった。3名で何度も確認し、1週間ほどかかっていた業務がなくなった。
- ・徴収後、現金を口座に預ける際の手数料の懸念もなくなった。